

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県大野町

●地域における現状・課題

- ・令和5年度運動部活動活動状況は2中学校で20部が活動している。
- ・生徒数が年々減少傾向にあり、令和11年には、現在より100人ほど減少見込みである。
- ・現中学校単独での活動の維持は困難となるため、令和6年8月からの休日運動部活動の地域移行に向け、生徒が継続して活動できるように、地域と協力して受け入れ体制を構築していく必要がある。

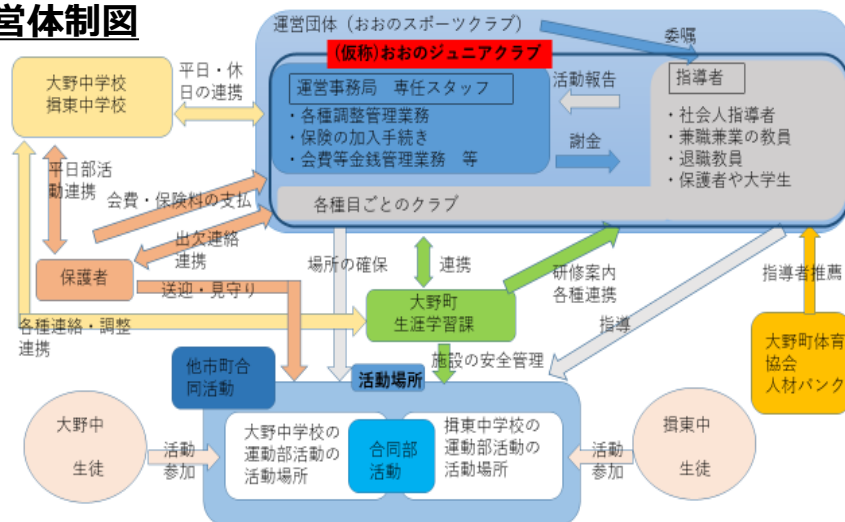
●取組事項の概要

- ・コーディネーターを配置し、関係団体と中学校や町などと連絡調整等を実施。
- ・小中学校教職員向け兼職兼業アンケート、指導者との意見交換会、指導者及び保護者代表向け説明動画（Youtube）配信及びアンケート等の実施。
- ・町独自のガイドライン作成。部活動顧問へヒアリング、部活動備品・用具調査、コミュニケーションアプリBANDの活用事例調査を実施。
- ・おおのスポーツクラブ等の体育団体と連携し、検討会議等実施や地域クラブへの指導者推薦。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・県ガイドラインを元に、町独自のガイドラインを作成し、町の方針・指針を示した。
- ・今後の広域的な活動を見据え、揖斐郡3町で調整会議を定期的に行い、情報共有等連携を図った。
- ・視覚的にわかりやすいパワーポイント資料の提示や、音声付きの動画配信をするなど、周知に努めた。
- ・先進地（羽島市・海津市）を視察し、疑問点や課題点などの洗い出しをした。また、羽島市の地域移行先のクラブのガイドラインを購入し規約や様式等参考にした。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（令和6年8月より実施）

令和5年度の検討により以下の体制を決定

- (1) 運営類型：総合型地域スポーツクラブ運営型
- (2) 運営団体：おおのスポーツクラブ
- (3) 種目：陸上、バスケット、サッカー、野球、バレー、ソフトテニスなど11種目
- (4) 指導者の主な属性：大野町体育協会へ登録
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回程度
- (6) 主な活動場所：大野中学校、揖東中学校、町民体育館
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車、保護者による送迎
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）13,000円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県池田町

●地域における現状・課題

- ・揖斐郡池田町では、令和4年度に池田町中学校部活動改革検討委員会を設置し、現在、地域移行に向けて体制の整備を進めている。
- ・池田町には、部活動を補完するため、平成16年に設置した地域クラブ「池田町ジュニアスポーツクラブ」がある。このクラブは約20年の活動実績があり、指導体制も整っていることから、当町では「池田町ジュニアスポーツクラブ」を運営団体とし、そこに文化系部活動の一部を加え、名称を「（仮称）池田ジュニア」に変更し、地域移行の推進を図っていくこととした。

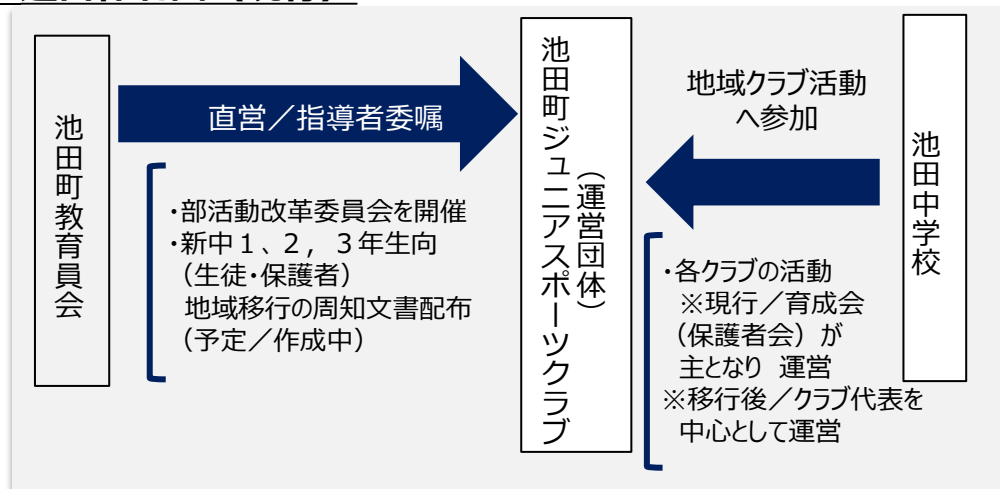
●取組事項の概要

- ・既存の「池田町ジュニアスポーツクラブ」を運営団体として文化系部活動外部指導者も取り込み新組織の計画を進めた。
- ・移行案検討の際、運動系14クラブと文化系部活動の実態調査・育成会、指導者の意見を集積し、懸念事項を調査し参考にした。
- ・指導者謝金を拡充するため、受益者負担が増えることについて理解をいただくよう話し合いを進めた。
- ・教員向けアンケート実施
- ・各クラブ指導者が不安に感じている『責任問題』、『練習時間減による競技力低下』についての指導者研修会や移行説明会を開催した。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・池田町ジュニアスポーツクラブを運営団体とし、（仮称）池田ジュニアに休日部活動を移行することが決定した。
- ・料金体系について、移行後の指導者謝金について、一定の理解をいただくことができた。
- ・地域指導者に、過度に心理的な負荷がかからないよう配慮する組織体系を作ることになった。

●運営体制図（現行）



●地域クラブ活動の概要

- (1) 運営類型：地域団体・人材活用型
- (2) 運営団体：池田町ジュニアスポーツクラブ
- (3) 種目：14 (野球・バスケットボール・ソフトテニスなど)
- (4) 指導者の主な属性：社会人指導者（会社員・自営業等）
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：平日3.7回／休日4.7回／月
- (6) 主な活動場所：池田中学校（体育館・グラウンド）・池田町総合体育館等
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：現在1,000円/年 移行後12,000円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800又は1,450円
指導者1,200円又は1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県関市

●地域における現状・課題

- ・地理的課題…市の面積が東西南北に広く、市が主導して競技ごとに集約して拠点を作ることが難しい。
- ・学校規模の差…市内に9校の中学校があり、生徒数の差が大きい。単独で部活動が成立する学校と複数の学校の部が集まなければならない中学校がある。
- ・運営団体の確保…市内に中学生を受け入れている大規模な総合型スポーツクラブがなく、スポーツ協会等も指導体制が整っていないため受け入れが困難である。

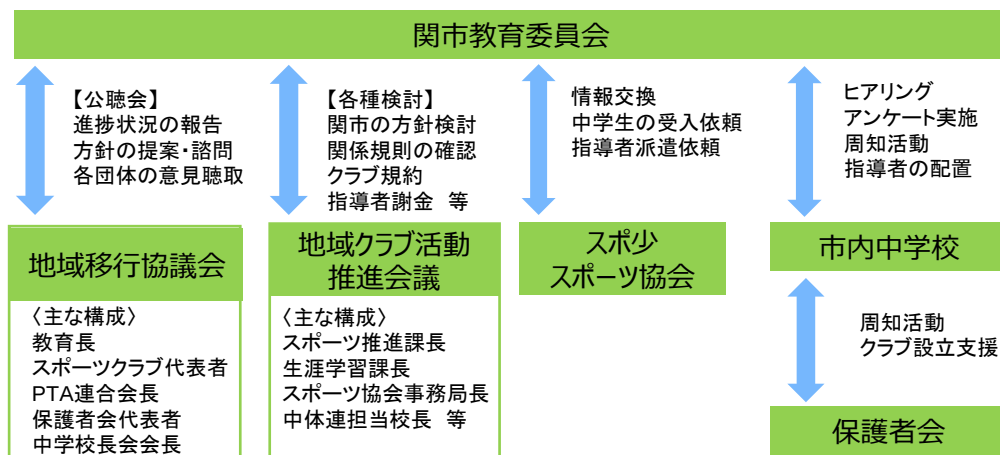
●取組事項の概要

- ・情報収集…市内中学校を訪問、実情や要望の聞き取り。近隣市町村、先進的に取り組んでいる市町村を訪問し、移行に向けた方向性を明確化する。
- ・会議の開催、方針の決定…コーディネーターを中心に市の方針を作成。関係部局から構成する協議会や外部関係者が参加する推進会議の開催。
- ・関市地域クラブ登録制度…市が認める地域クラブ（関市地域クラブ）制度の体制整備。設置要綱、規約、名簿等必要書類の作成。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・市が認可するクラブ（関市地域クラブ）登録制度の体制整備、令和6年度活動クラブの登録受付を開始
- ・中学校との連携（生徒、保護者への周知、地域クラブ登録サポートを依頼）
- ・関係団体、関係部局との連携、地域移行の周知、理解促進

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：市区町村運営型（地域団体・人材活用型）
- (2) 運営団体：関市教育委員会学校教育課
- (3) 種目：陸上競技
- (4) 指導者の主な属性：中学校教諭、社会人
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4～5回
- (6) 主な活動場所：中池運動公園陸上競技場
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (9) 1人あたりの保険料：指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県美濃市

●地域における現状・課題

- ・市内中学校の部活動は部員不足に直面し、複数校の生徒が集まり、合同部活動や拠点校部活動の形態で大会に出場している。
- ・各部活動は、20年を超える保護者運営実績があり、10年を超えて指導を続けるスタッフが半数の種目にいる。
- ・保護者は、蓄積されたノウハウをいかして活動を運営しているが、地域移行への体制変化に戸惑いもあり、新体制の理解が必要となる。

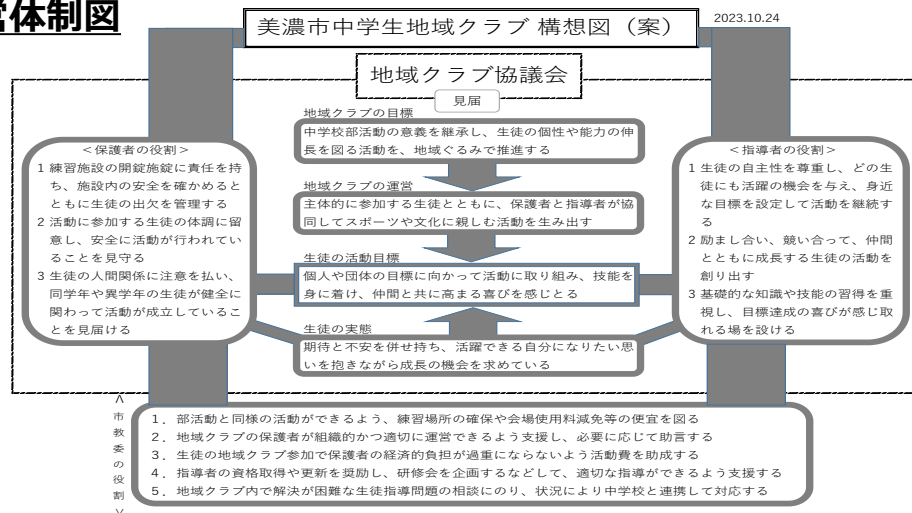
●取組事項の概要

- ・令和6年度に部活動を一齐に地域移行するために、本年度は準備を進め、地域クラブ協議会を立ち上げて検討を重ねることができた。
- ・本年度、中学1年生の部活動加入率が30%を切った要因を探るとともに、協議会の意向も受けた部員増の取り組みを、地域移行重点活動として進めた。
- ・2つの中学校、協議会、体育協会、市教育委員会の間で、地域移行に向けた課題意識を共有し、具体的な問題に関して検討することができた。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・地域クラブに移行した後は協議会が重要になるが、本年度はその準備の段階であるため、希望者が参加できる協議会の体制をとった。
- ・保護者や指導者は、中学校の関与が少なくなることに不安を感じたため、協議会以外の場でも話し合いを設け、不安や不満が解消できるよう配慮をした。
- ・次年度以降、部活動参加生徒の増加を目指すことを本年度の取り組みの重点の一つとして実践したが、今後も働きかけを続け、次年度以降の成果へ繋げたい。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（市全体の移行予定）

- （1）運営類型：保護者・指導者・体協・市教委の協働型
- （2）運営団体：美濃市中学生地域クラブ協議会・美濃市教育委員会
- （3）種目：市内9運動部活動（男女バレー、男女バスケ、サッカー、野球、卓球、バドミントン、剣道）
- （4）指導者の主な属性：地域社会人
- （5）1か月あたりの平均的な活動回数：10回/月
- （6）主な活動場所：中学校施設及び市内公共施設
- （7）主な移動手段：保護者送迎あるいは徒歩・自転車
- （8）1人あたりの参加会費等（年額）：：12,000～25,000円/年
- （9）1人あたりの保険料：（基本的に）生徒無料円/指導者2,450円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県郡上市

●地域における現状・課題

- ・休日については、平成18年頃から市内全ての学校で部活動は保護者が主体となった保護者クラブが運営しており、地域クラブ化がすでに定着している。
- ・少子化が急激に進み、学校単独で部活動が成立するところが少ない。市内8校のうち5校では、選択肢がほとんどなくなっている。部活動が一つしかない学校もある。
- ・郡上市は県内で2番目に面積が広く、地域クラブ活動を実施する場合、生徒の移動に大きな課題がある。

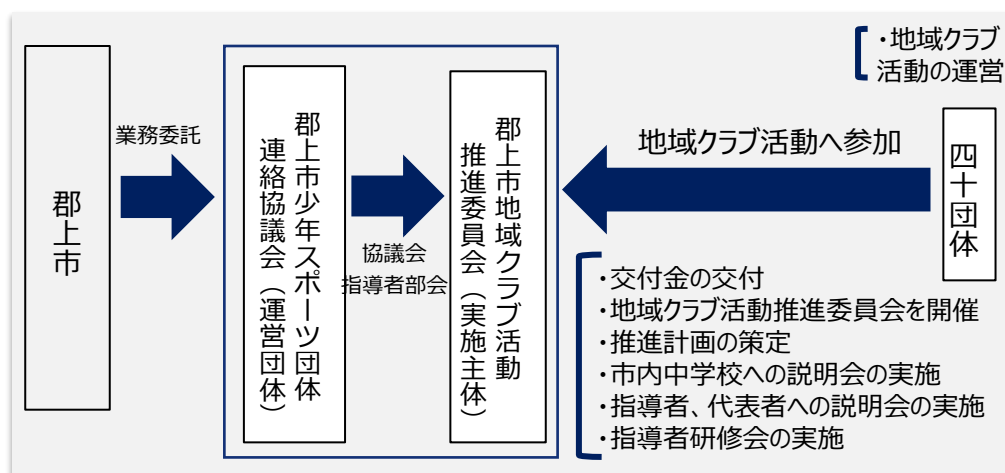
●取組事項の概要

- ・保護者クラブを指導者主体のクラブに移行する。そのためには、指導者の共通理解や意思の疎通を図り、種目団体の組織を強化する必要がある。
- ・平日は移動の口スをなくし、指導者を確保するために、地域ごとに小・中合同の活動を行い、小中合同組織をつくりだす。
- ・休日は保護者に時間的なゆとりがあるので、市内の中学生を1か所か2か所に集め、それぞれの種目で合同練習や交流試合を実施する。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・指導者や保護者、関係者の部活動改革への理解を図るため、種目団体ごとのヒアリングや市内の代表者・指導者を一堂に集めた説明会、学校職員への説明会、スポーツ協会やスポーツ指導員に向けた説明会、学校職員への説明会、中学校入学説明会でのプレゼンなど、ヒアリングや説明会を繰り返し実施した。
- ・教員の働き方改革のためだけの部活動改革ではなく、子どもたちにとってより良いスポーツ環境を生み出すための部活動改革であることが少しずつ浸透してきた。

●運営体制図



●郡上市剣道クラブの概要

- (1) 運営類型：地域クラブ主体型
- (2) 運営団体：郡上市剣道クラブ
- (3) 種目：剣道
- (4) 指導者の主な属性：地域指導者・教職員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：8回
- (6) 主な活動場所：学校体育施設・市内体育施設
- (7) 主な移動手段：保護者による送迎
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：20,000円
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,350円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県坂祝町

●地域における現状・課題

- ・令和3年度に協議会を設け、令和4年度より休日の活動を『中学校クラブ活動』として開始
- ・運営団体は教育委員会事務局が担い、活動については各クラブ保護者や地域指導者が主体となって活動
- ・指導者の質の充実や量の確保が課題

●取組事項の概要

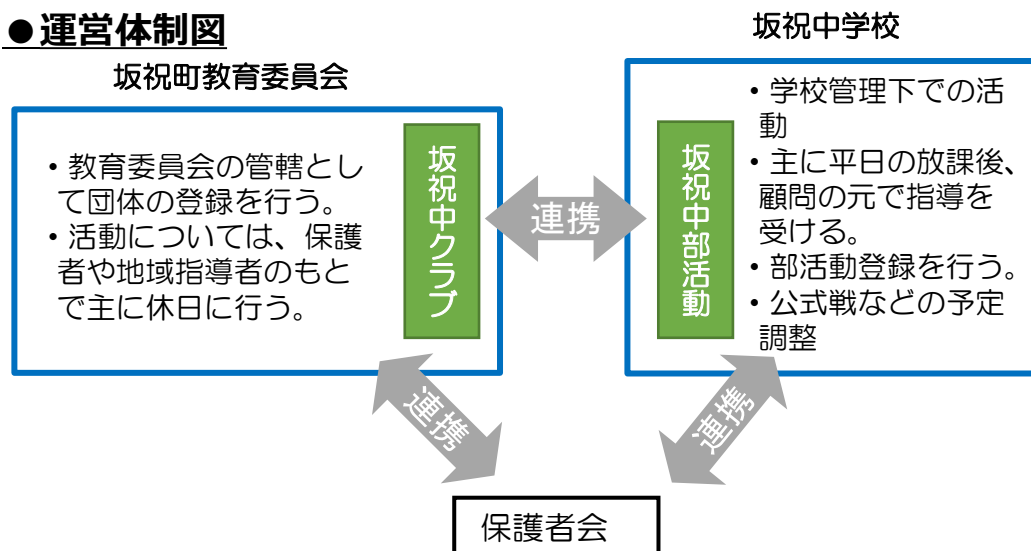
休日の活動を部活動ではなく、町に登録した部活動と連携したクラブとして活動を行う。その登録や責任について教育委員会が担い、指導については各クラブにおいて登録された指導者が担う。指導者は岐阜県において開催される地域指導者育成研修会に参加し、受講した指導者に対し謝金を支払い、指導者の確保に努める。また、謝金の支払いにより生徒の活動環境の確保も行う。

●取組の成果、特に工夫した点等

指導者謝金の支払いについては、岐阜県スポーツ協会主催の地域指導者育成研修会の参加を条件としたことで、多くの方にライセンスを取得してもらうことができ、指導者の質の確保につながった。

また、各クラブが毎月指導状況の報告書を提出することにより、確実な謝金の支払いや、各クラブの活動状況を把握することに繋がり、事務局の業務の円滑化ができた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：市区町村運営型
- (2) 運営団体：坂祝町教育委員会
- (3) 種目：サッカー、男子バスケットボール、女子バスケットボール、女子バレーボール、卓球、ソフトテニス
- (4) 指導者の主な属性：地域指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：6、7回
- (6) 主な活動場所：坂祝中学校及び町内社会体育施設
- (7) 主な移動手段：生徒自身での徒歩、自転車及び保護者の自家用車
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：サッカー：12,000円、男子バスケ：6,000円、女子バスケ：6,000円、卓球：2,000円、ソフトテニス5,000円、バレー：7,600円
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,450円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県川辺町

●地域における現状・課題

- ・川辺町は中学校が川辺中学校 1 校のみの町である。人口の減少率は大きくはないが、高齢化が進んでおり中学生数はかなり減少している。
- ・以前から中学校の各部活に地域の指導者が参加し、顧問にできない専門的な指導を行ってきた。
- ・種目によっては、人数不足のため休部を余儀なくされる可能性のある部が存在する。
- ・中学校部活動を地域移行した際の受け入れ先を検討し、早急な受け入れ先の決定と移行について了解を得る必要がある。
- ・部活動指導員が配置されていない種目があるなど登録人数が少ないため、部活動指導員の増員を目指す。

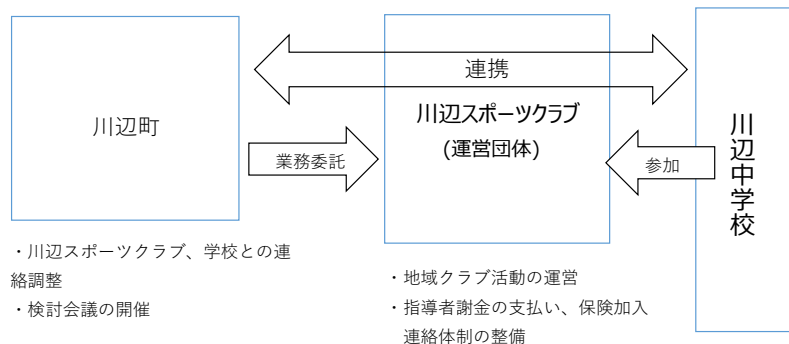
●取組事項の概要

- ・地域指導者が部活動指導員登録（会計年度任用職員）をし、顧問がいなくても部活動ができる環境づくりに取り組んだ。
- ・部活動指導員の勤務票の作成や回収、勤務実績報告の作成といった事務関係の作業を継続して行った。
- ・活動母体を川辺中学校から川辺スポーツクラブへと移行するため令和6年度に1部活動（バドミントン）を先行移行させる準備を行った。
- ・町単独でコーディネーターを雇用したことで、部活動指導員の確保や、地域移行の受け入れ先の決定、受け入れ先となった川辺スポーツクラブとの連絡が可能となった。
- ・川辺町部活動地域移行検討会議を開催した。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・地域指導者や部活動指導員との信頼関係を築くために、コーディネーターが部活動の様子を視察し、伝達事項等は直接会って伝えるようにした。
- ・9部活中7部活の地域指導者が部活動指導員（19名）として登録を完了している。
- ・複数の部活動で、部活動指導員による単独指導が成立している。
- ・川辺町の実証事例としてバドミントン部の先行移行を準備した。これによって、他の部活動の移行をスムーズに行えるよう問題点等を検証する。

●運営体制図（令和6年度から）



●地域クラブ活動の概要（令和6年度から）

- (1) 運営類型：総合型地域スポーツクラブ運営型
- (2) 運営団体：川辺スポーツクラブ
- (3) 種目：バドミントン部
- (4) 指導者の主な属性：川辺スポーツクラブ
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回
- (6) 主な活動場所：川辺中学校体育館
- (7) 主な移動手段：自転車
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：1,000円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県七宗町

●地域における現状・課題

当町では地域指導者が確保できており、運動部活動の地域移行が進んでいる現状である。地域指導者保護者代表者会にて保護者と共に情報交換することで、地域指導者の困り感に寄りそった支援を考えることができた。安定した活動を継続できるように、行政としての支援が必要であると考えている。

課題としては、令和7年度中学校統合に向けて部活動組織の合併が必要に迫られていることである。

●取組事項の概要

部活動の地域移行を昨年度よりも安定した活動にしていくために、地域指導者保護者代表者会にて保護者と共に地域指導者と情報交換をしてきた。また、令和7年度中学校統合に向けて、年に3回実施している七宗町立小中学校統合準備委員会にて部活動組織の合併に向けて各学校の校長・教頭と協議してきた。

●取組の成果、特に工夫した点等

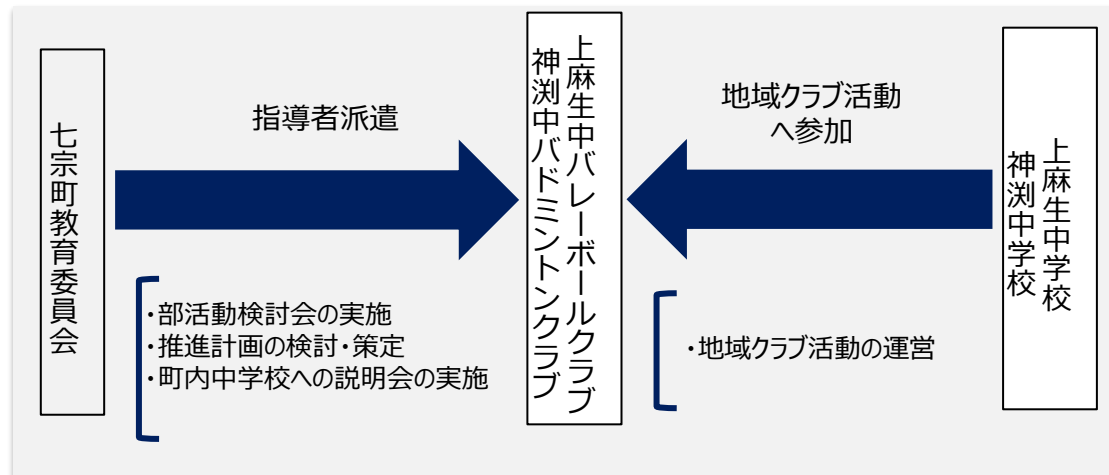
成果 ①地域指導者保護者代表者会にて保護者と共に情報交換することで、地域指導者の困り感に寄りそった支援を考えることができた。

②地域指導者には岐阜県主催の地域指導者育成研修会への参加を義務付けるなど、地域指導者の指導力向上について取り組むことができた。

③令和7年度中学校統合に向けて、年に3回実施している七宗町立小中学校統合準備委員会にて各学校の校長・教頭とも協議し、よりよい部活動組織合併に取り組んでいる。

工夫 地域指導者には何度も直接連絡をとって話をし、よりよい地域移行について一緒に考えることができた。現在の部員の状況や地域指導者への謝金についてなど、様々な困り感について一緒に考えてきた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：市区町村運営型
- (2) 運営団体：神淵中学校バドミントンクラブ
- (3) 種目：バドミントン
- (4) 指導者の主な属性：社会人指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：3回程度
- (6) 主な活動場所：神淵中学校体育館
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車、車での送迎
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県八百津町

●地域における現状・課題

町内2校に合計13部活動のうち、運動部活動が12部存在する。令和4年度は、半数の部活動では、外部指導者がおらず、教職員である顧問が指導を行っていた。2校に同一の部活動も存在するが、山間部に面していることから、合同で行うことも安易ではない状況である。また、生徒数も減少傾向であり、将来的には現在の部活動数の維持は難しい。

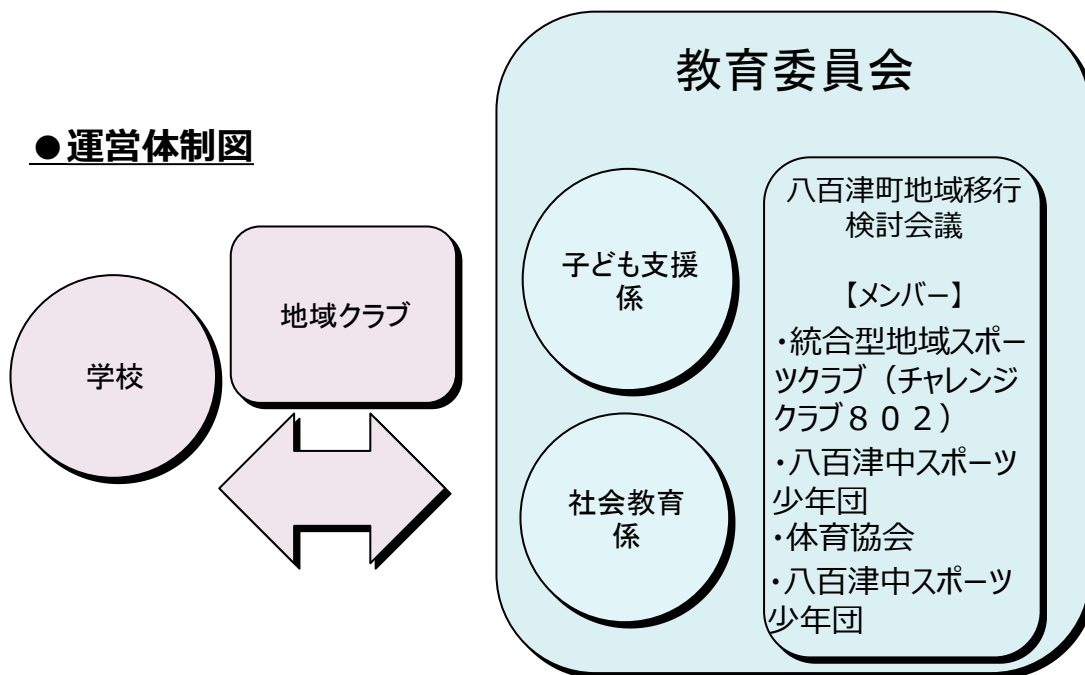
●取組事項の概要

- ・八百津町部活動地域移行検討会議を開催。関係団体代表者相互の地域移行に向けた方向性及び課題整理
- ・休日部活動を移行するための指導者の確保
- ・上記の確保により、顧問が休日の部活動へ参加する機会を減らす

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・地域クラブを導入したことにより、顧問の休日の活動時間が月に平均2.09日減り、時間外勤務を削減できた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域団体・人材活用型
- (2) 運営団体：八百津町地域スポーツクラブ
- (3) 種目：野球
- (4) 指導者の主な属性：民間スポーツ事業者に属する指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月4日程度
- (6) 主な活動場所：八百津中学校
- (7) 主な移動手段：車
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：10,000円
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県白川町

●地域における現状・課題

- ・本町には2つの中学校があり、部活動変遷の歴史はそれぞれである。平成29年3月に「一般社団法人スポーツリンク白川」が発足して以降、学校部活動と連携した地域クラブ活動の運営団体・実施主体としてその役割を果たしている。今後は学校再編（中学校の統合）を視野に入れ、平日の活動を含めた部活動の地域移行について、本町の実情に即した内容で進める必要がある。
- ・地域指導者の確保や研修機会の充実のほか、統一的な謝金の在り方（財源の確保）、2つの中学校との連携（活動時間や活動場所など）が必要不可欠であり、運営団体となる一般社団法人スポーツリンク白川の体制強化が課題である。

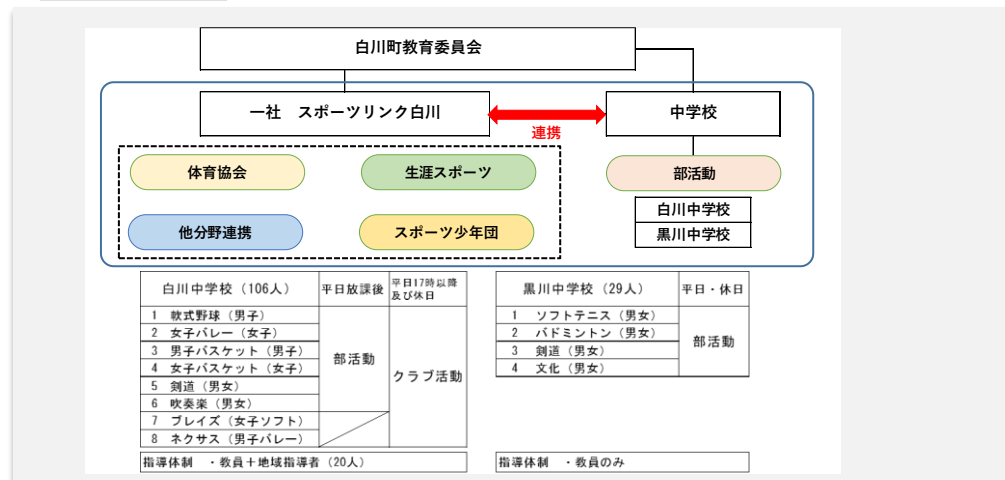
●取組事項の概要

- ・町教育委員会、中学校、スポーツリンク白川など関係機関の連絡・調整役を担うコーディネーターを設置し、今後の方向性を踏まえた各種規定の整備を行う。更には中学校の統合を視野に入れた体制の整備（移動手段の確保など）についても「新しい学校づくり検討委員会」等において協議・検討を進める。
- ① 地域移行コーディネーターの設置〔体制の整備〕 ➡ コーディネーターを設置することで推進体制の整備を図る。
- ② スポーツリンクバスの運行（平日）〔関係団体・分野との連携強化〕 ➡ 佐見地区から通学する生徒について、スポーツリンク活動時の移動手段を確保する。
- ③ 地域指導者謝金の支払い〔指導者の質の保障・量の確保〕 ➡ 地域指導者の確保を図るとともに、謝金の在り方について実証・検証を行う。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・「運動部活動の地域移行に向けた実証事業」ではあるが、文科系の部活動（吹奏楽部）及び休日だけでなく平日の活動を含めた地域移行の在り方を検討した。
- ・持続可能な地域移行の在り方を研究・検証するため、地域指導者の謝金単価は、年間指導時間を算出したうえでの単価設定とした。
「年間指導時間数」と「年間謝金」の試算など

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- （1）運営類型：総合型地域スポーツクラブ（体育協会・スポーツ少年団）
- （2）運営団体：一般社団法人 スポーツリンク白川
- （3）種目：野球（男子）、バスケットボール（男女）、バレー（女子）、剣道
- （4）指導者の主な属性：学校長及びスポーツリンク白川が委嘱する地域指導者
- （5）1か月あたりの平均的な活動回数：平日は週4回（月に20回程度）
休日は週1回（月に5回程度）
- （6）主な活動場所：白川町内・外
- （7）主な移動手段：保護者による送迎または町が運行する送迎用バス
- （8）1人あたりの参加会費等（年額）：1,000円/年
- （9）1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県中津川市

●地域における現状・課題

- ・中津川市ではすでに休日の部活動は、大半の学校で保護者クラブが主体となって活動し、部活動の受け皿となっている。しかし、保護者クラブを統括マネージメントする運営団体は明確になっていない。
- ・部活動数は、ここ数年変わっていないが、生徒数の減少から、競技（野球・サッカー）によっては、単独でチームを編成できなくなっている学校が増えてきた。そのため中体連の大会には合同部活動として参加している。保護者クラブも他校のクラブと一緒に活動しているクラブが増えてきている。

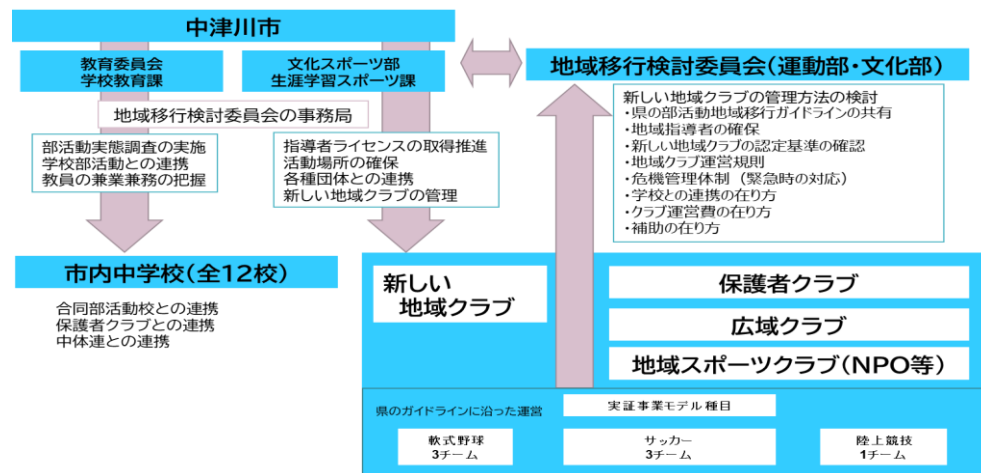
●取組事項の概要

- ・合同クラブ化が進んでいる軟式野球・サッカー・陸上について、新しい地域クラブのモデルクラブとして活動する。また、地域移行検討委員会を立ち上げ、令和7年度末までに地域移行が完了できるように登録制度の内容や受益者負担と市の補助の在り方、指導者の育成と確保について等、持続可能な運営を構築できるように取り組む。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・野球、サッカーについては市内の部活動がある学校の全てがいくつかの合同保護者クラブとして活動しているためモデルクラブチームとした。また、陸上競技については、市内の中学生であれば所属できる地域クラブとして活動しているため、モデルチームとした。野球3チーム、サッカー3チーム、陸上1チームの代表者については、地域移行検討委員会の委員になっていただき、運営面の工夫点や課題点等の意見交流を行った。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：市区町村運営型（地域団体・人材活用型）
- (2) 運営団体：生涯学習スポーツ課（教委育委員会）
- (3) 種 目：陸上競技
- (4) 指導者の主な属性：社会人、教員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月8回程度（平日夜も含む）
- (6) 主な活動場所：中津川陸上競技場
- (7) 主な移動手段：保護者の送迎
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）24000：円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県高山市

●地域における現状・課題

- ・高山市の課題点は大きく3点「人」…指導者の確保、質の確保・向上 「もの」…地域クラブ移行後の備品や道具の扱いについて（消耗品、卓球台、楽器等）
「場所」…活動場所の確保、移動手段（市内中心部と支所地域の移動） ※地域移行検討委員会で検討している

●取組事項の概要

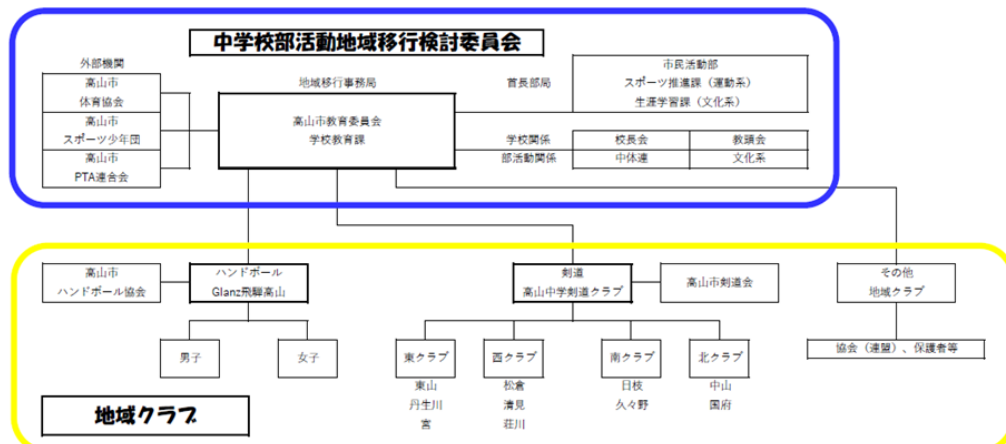
- ・2種目（ハンドボール男女で3名、剣道4チーム8名）11名の地域クラブ指導者の謝金に活用した。
ハンドボール…専門的な指導が受けられることで、限られた時間の中でも力をつけ、女子のチームが中体連県大会優勝（東海大会出場）、新人戦県大会優勝を果たした。
剣道…教員中心の指導者であるが、市の剣道会にも所属し指導力もあるため、専門的な指導を受け、中体連県大会で上位入賞、東海・全国大会に出場した。
・ハンドボールにおいては、指導者を3名から4名に増員したい。理由は、男女のチームがあるので、現在男子の指導者1名、女子の指導者2名なので、男子の指導者を2名に増やして指導に当たりたい。また、今後は、地域クラブの指導者に対して、市の研修を行うことで、質のさらなる向上を図っていききたい。（R6に計画・実施予定）

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・剣道について、定期的に合同練習を行うことで、互いに刺激し合って高め合うことができた。また、違うチームの指導者からの指導を受けることができることも魅力である。
地元の高校（西高校）の協力を得て合同練習等を行っている。
- ・剣道について、チーム編成や指導者を定期的に見直す計画がある。3年を目途にチームの編成・指導者を検討し決定していく。（4チームに2人ずつ配置予定）
これによって、いろいろな指導者からの指導を受けられる。

●運営体制図

高山市地域移行イメージ図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：市区町村運営型（競技団体連携型）
- (2) 運営団体：高山市ハンドボール協会、高山市剣道会（高山市教育委員会）
- (3) 種目：ハンドボール、剣道
- (4) 指導者の主な属性：協会員、剣道会員（教職員含む）
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：ハンドボール（月8回、平休日1日ずつ）
剣道（月4回：土日のどちらか1日）
- (6) 主な活動場所：ハンドボール：飛騨高山ビッグアリーナ、市内小学校など
剣道：市内中学校
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車、自家用車など
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：ハンドボール：60,000円/年
剣道：0円/年（現在検討中）
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1,850円
（スポーツ安全保険）

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岐阜県飛騨市

●地域における現状・課題

- ・多様な活動を生み出す環境と持続可能な運営ができる組織体制の構築、ならびに、遠い所では50km程離れている中学校間や活動場所への生徒移動方法。
- ・スポーツ少年団や部活動において指導者の高齢化や指導者不足。今後、指導者に対する資質向上のための研修の受講や資格取得について促進。
- ・スポーツ少年団や部活動への様々な支援を地域クラブ活動にも適用するなど、保護者負担経費の軽減、ならびに、運営団体支援の在り方。

●取組事項の概要

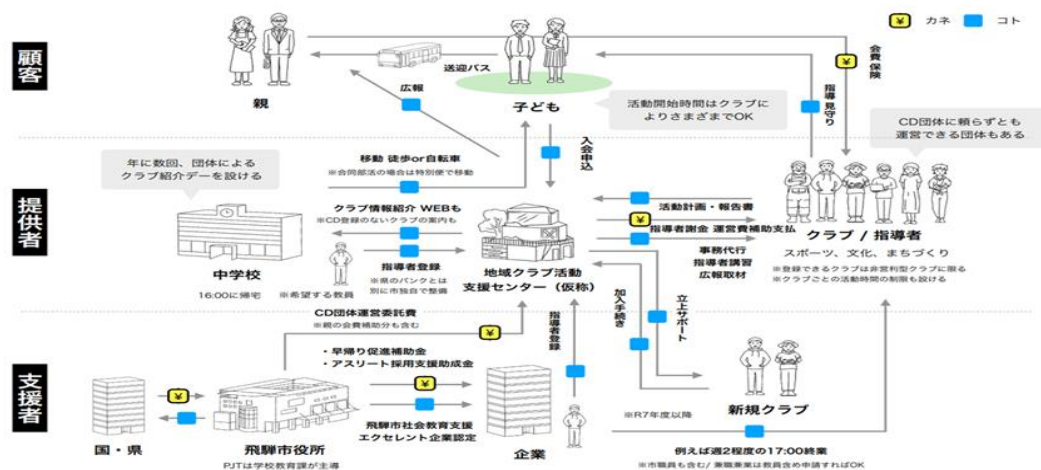
- ・民間業者の(株)Edoへ、実施主体への聞き取りや実態・課題把握、飛騨市地域クラブ活動全体設計や体制整備コーディネート業務を委託。
- ・地域クラブ活動の運営団体に担ってほしいことや現在抱えている課題について把握。今後の指導者研修の在り方を協議し、実施に向けて準備。
- ・保護者の費用負担を軽減するため、各種大会や遠征の交通費等を補助、保護者による送迎費用や公共交通機関運賃に対する補助。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・市民への「地域クラブ活動移行説明会」、実施主体への「地域クラブ活動実証事業説明会」等による意見聴取を踏まえたビジョンおよびロードマップを作成した。
- ・地域クラブ活動の実施主体となり得る団体の声を大切にし、新しい社会教育環境を地域と一緒に考え、創りあげていくといった意識を共有しながら取り組んだ。
- ・市役所公共交通担当者と連携し、生徒が平日・休日問わず、地域クラブ活動へ参加するための公共交通機関利用の在り方について意見交流を行った。

●運営体制図

持続可能とは「安定した仕組みがあること」 地域クラブ活動センター事業案



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型
- (2) 運営団体：古川JYSSスポーツクラブ
- (3) 種目：サッカー
- (4) 指導者の主な属性：飛騨市サッカー協会
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：8回
- (6) 主な活動場所：飛騨市杉崎公園グラウンド
- (7) 主な移動手段：2中学校間移動車および自転車
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：60,000円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1,850円